

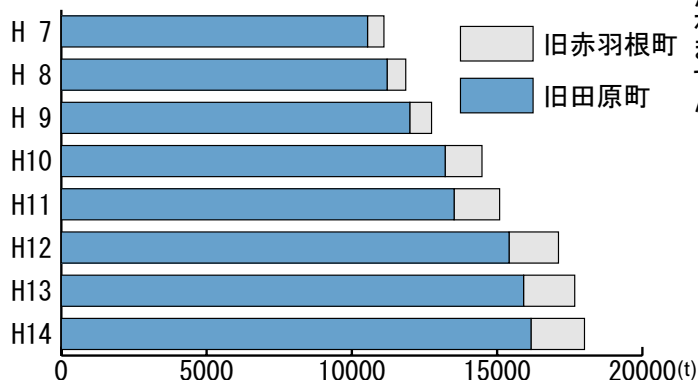
ごみの減量化とリサイクルへの緊急提言

処分場がピンチです ごみの減量化にご協力を

田 原市のごみは毎年増え続けています。平成7年と14年の

発生量を比較すると、7年間で約7000トン（約60%）も増えていることが分かります。また、田原東部最終処分場は限界に達しており、今年度中にも埋め立てが終了する見込みです。このままでは、ごみの収集処理がマヒしてしまう事態にもなりかねません。

田原市のごみ発生量の推移



見直そう！日常生活

ごみの処理には、莫大なお金や施設などが必要となります。環境保全や資源保護のためにも、私たち一人ひとりがごみを減らし、省資源やリサイクルを進めなければなりません。そのためには、「日ごろ「ごみ」と思っ捨てていたものが再利用できないか、必要以上のものを買っていないかなどを考え、日常生活を見直すことが肝心です。創意工夫で、ごみの減量化とリサイクルに取り組みましょう。皆様のご協力をお願いします。

すぐに実践 暮らしの工夫

家庭における「ごみ減量の近道は「ごみになるものを買わない」ことです。無駄なものを買わないことは家計の節約にもつながります。具体的に、次のようなことを心がけましょう。

献立を考え、食材の購入は適量で過剰な包装はしない・されない

買い物袋を持参する

使い捨て商品の購入は控える
長く使える良質なものを選ぶ
使えるものは繰り返し使う
故障しても、可能な限り修理をリターナブル商品の商品を選ぶ
詰め替え商品を選ぶ
不要品交換会を利用する
リサイクルショップを利用する
エコマーク商品を選ぶ

ごみは資源 しつかり分別

田原市では、できる限り資源化できるごみについては、分別収集を行っています。ごみ減量化のため「混ぜればごみ、分ければ資源」を忘れずに、ごみ出しのルールを守って、面倒くさながら分別収集にご協力ください。

ごみは指定日時・指定場所に
食事は作りすぎず・残さず
生ごみは水分をよく切ってから
古紙・繊維類は雨の日に出さない
ビン・ペットボトルはふたを取り
すすいでから
プラスチック容器・白色トレイは

補助制度をご利用ください

ご家庭での生ごみ処理容器などの設置費用の一部を補助いたします。詳しくはお問い合わせください。

- 生ごみ処理容器（コンポスト容器）
容器本体1個について購入額の2分の1（限度額5000円）を補助 / 市内1世帯2個まで
 - 電気生ごみ処理機
機器本体1台につき購入額の2分の1（限度額2万円）を補助 / 市内1世帯1台まで
- 環境課 ☎ 23局3541

よく洗ってから
タイヤ・バッテリーは出さない
テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコンは電気機器小売店に
パソコンは製造メーカーに

最近、「ごみステーションにタイヤやバッテリーが出されている、指定日時以外に出されている、他地区の人が捨てていくなど、ごみ出しのマナーが悪化しています。各ごみステーションは周辺住民の皆さんやごみ減量化推進員さんのご協力により管理されています。ルールを守ってごみを出しましょう。